

GSグローバルREITポートフォリオ
(毎月分配型)

愛称：リートマスター

追加型投信／内外／不動産投信

第205期末(2024年5月8日)	第200期～第205期		
基準価額	6,298円	騰落率	12.7%
純資産総額	3,582百万円	分配金合計	120円

(注)騰落率は収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

■本ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信／内外／不動産投信
信託期間	原則として無期限
運用方針	日本を含む世界各国の証券取引所に上場されている不動産投資信託(リート)への分散投資を通じた、高水準のインカム・ゲインの獲得と長期的な元本の成長によって、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。
主要投資対象	
本ファンド	グローバルREITポートフォリオ・マザーファンドの受益証券
グローバルREITポートフォリオ・マザーファンド	日本を含む世界各国の証券取引所に上場されているリート
運用方法・組入制限	①主としてマザーファンドの受益証券に投資し、原則として、その組入比率は高位に保ちます。 ②実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 ③本ファンドおよびマザーファンドにおける組入制限は下記のとおりです。 ・投資信託証券および短期金融商品以外の有価証券への直接投資は行いません。 ・外貨建資産への投資割合には特に制限を設けません。
分配方針	原則として毎計算期末(毎月8日。休業日の場合は翌営業日。)に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の利子・配当等収益および売買損益(評価損益を含みます。)等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定します。

第200期(決算日2023年12月8日)

第201期(決算日2024年1月9日)

第202期(決算日2024年2月8日)

第203期(決算日2024年3月8日)

第204期(決算日2024年4月8日)

第205期(決算日2024年5月8日)

作成対象期間:2023年11月9日～2024年5月8日

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「GSグローバルREITポートフォリオ(毎月分配型)」は、このたび、第200期～第205期の決算を行いました。本ファンドは、日本を含む世界各国のリートに分散投資を行うことにより、高水準のインカム・ゲインの獲得を図りつつ、信託財産の成長をめざして運用を行っております。今期の運用経過等について、以下のとおりご報告申し上げます。今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

〒105-5543 東京都港区虎ノ門2-6-1 虎ノ門ヒルズステーションタワー

お問合せ先: 03-4587-6000(代表)

受付時間: 営業日の午前9時～午後5時 | www.gsam.co.jp

■最近5作成期の運用実績

決 算 期		基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期 騰落 中率	参考指標	期 騰落 中率	投資信託 証券比率	純 資 産 額
		円	円	%		%	%	百万円
①	176期 (2021年12月8日)	6,336	20	△ 1.8	15,606	△ 0.1	98.4	4,583
	177期 (2022年1月11日)	6,446	20	2.1	15,803	1.3	98.4	4,588
	178期 (2022年2月8日)	6,109	20	△ 4.9	15,031	△ 4.9	97.9	4,222
	179期 (2022年3月8日)	5,934	20	△ 2.5	14,681	△ 2.3	98.4	4,081
	180期 (2022年4月8日)	6,725	20	13.7	16,806	14.5	99.0	4,556
	181期 (2022年5月9日)	6,416	20	△ 4.3	15,536	△ 7.6	96.6	4,256
②	182期 (2022年6月8日)	6,559	20	2.5	16,249	4.6	98.0	4,333
	183期 (2022年7月8日)	6,207	20	△ 5.1	15,472	△ 4.8	98.2	4,075
	184期 (2022年8月8日)	6,399	20	3.4	16,197	4.7	97.5	4,189
	185期 (2022年9月8日)	6,416	20	0.6	16,236	0.2	98.3	4,178
	186期 (2022年10月11日)	5,501	20	△13.9	13,989	△13.8	97.3	3,574
	187期 (2022年11月8日)	5,881	20	7.3	14,938	6.8	98.7	3,805
③	188期 (2022年12月8日)	5,821	20	△ 0.7	14,889	△ 0.3	98.5	3,761
	189期 (2023年1月10日)	5,659	20	△ 2.4	14,483	△ 2.7	97.0	3,644
	190期 (2023年2月8日)	5,972	20	5.9	15,333	5.9	97.8	3,836
	191期 (2023年3月8日)	5,861	20	△ 1.5	15,062	△ 1.8	97.3	3,760
	192期 (2023年4月10日)	5,577	20	△ 4.5	14,516	△ 3.6	97.3	3,569
	193期 (2023年5月8日)	5,805	20	4.4	15,104	4.1	98.4	3,688
④	194期 (2023年6月8日)	5,849	20	1.1	15,123	0.1	98.9	3,715
	195期 (2023年7月10日)	5,881	20	0.9	15,254	0.9	97.6	3,704
	196期 (2023年8月8日)	5,994	20	2.3	15,613	2.4	97.2	3,727
	197期 (2023年9月8日)	5,915	20	△ 1.0	15,723	0.7	97.5	3,661
	198期 (2023年10月10日)	5,583	20	△ 5.3	15,075	△ 4.1	98.0	3,442
	199期 (2023年11月8日)	5,698	20	2.4	15,274	1.3	98.5	3,501
⑤	200期 (2023年12月8日)	5,929	20	4.4	15,855	3.8	98.2	3,611
	201期 (2024年1月9日)	6,245	20	5.7	16,621	4.8	97.3	3,734
	202期 (2024年2月8日)	6,140	20	△ 1.4	16,634	0.1	98.2	3,610
	203期 (2024年3月8日)	6,127	20	0.1	16,793	1.0	97.7	3,540
	204期 (2024年4月8日)	6,239	20	2.2	17,312	3.1	98.3	3,580
	205期 (2024年5月8日)	6,298	20	1.3	17,572	1.5	98.5	3,582

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 参考指標 (S&P先進国リート・インデックス (除く米国、トータル・リターン、円ベース) とS&P先進国リート・インデックス (トータル・リターン、円ベース) を1対1の割合で合成したもの) は、2007年2月22日を10,000として指数化しております。

(注3) 本ファンドはマザーファンドを組入れますので、投資信託証券比率は、実質比率を記載しております。

■過去6ヶ月間の基準価額と市況推移

決算期	年 月 日	基準価額		参考指標	投資信託 証券比率	
			騰落率		騰落率	
第200期	(期首) 2023年11月8日	円 5,698	% —	15,274	% —	% 98.5
	11月末	5,942	4.3	15,863	3.9	99.0
	(期末) 2023年12月8日	5,949	4.4	15,855	3.8	98.2
第201期	(期首) 2023年12月8日	5,929	—	15,855	—	98.2
	12月末	6,298	6.2	16,583	4.6	98.1
	(期末) 2024年1月9日	6,265	5.7	16,621	4.8	97.3
第202期	(期首) 2024年1月9日	6,245	—	16,621	—	97.3
	1月末	6,227	△0.3	16,508	△0.7	98.6
	(期末) 2024年2月8日	6,160	△1.4	16,634	0.1	98.2
第203期	(期首) 2024年2月8日	6,140	—	16,634	—	98.2
	2月末	6,133	△0.1	16,598	△0.2	98.8
	(期末) 2024年3月8日	6,147	0.1	16,793	1.0	97.7
第204期	(期首) 2024年3月8日	6,127	—	16,793	—	97.7
	3月末	6,390	4.3	17,502	4.2	97.6
	(期末) 2024年4月8日	6,259	2.2	17,312	3.1	98.3
第205期	(期首) 2024年4月8日	6,239	—	17,312	—	98.3
	4月末	6,282	0.7	17,255	△0.3	97.7
	(期末) 2024年5月8日	6,318	1.3	17,572	1.5	98.5

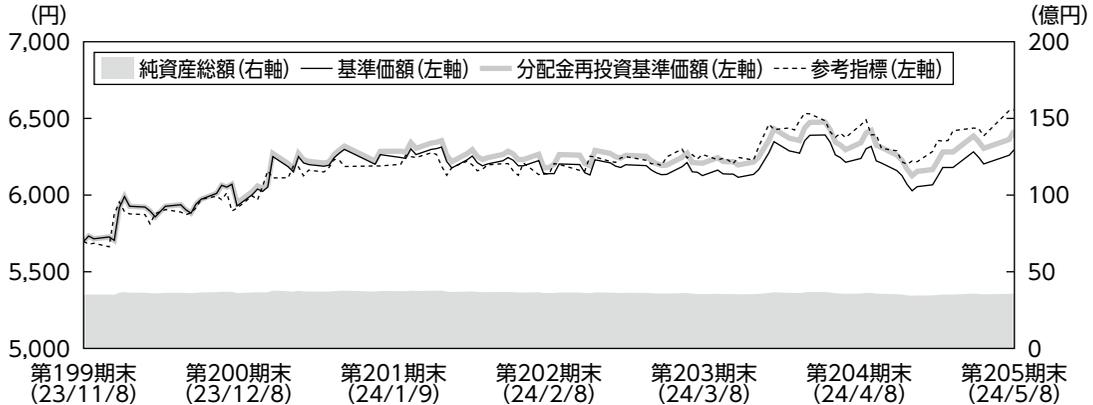
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 参考指標（S&P先進国リート・インデックス（除く米国、トータル・リターン、円ベース）とS&P先進国リート・インデックス（トータル・リターン、円ベース）を1対1の割合で合成したものは、2007年2月22日を10,000として指数化しております。

(注3) 本ファンドはマザーファンドを組入れますので、投資信託証券比率は、実質比率を記載しております。

■運用経過

◆基準価額等の推移について（2023年11月9日～2024年5月8日）



第200期首：5,698円

第205期末：6,298円

（当作成期中にお支払いした分配金：120円）

騰落率：+12.7%（分配金再投資ベース）

- (注1) 参考指標はS & P先進国リート・インデックス（除く米国、トータル・リターン、円ベース）とS & P先進国リート・インデックス（トータル・リターン、円ベース）を1対1の割合で合成した指数であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
- (注4) 分配金再投資基準価額、参考指標は、当作成期（以下、「当期」といいます。）の期首の基準価額を起点として指数化しています。
- (注5) 騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

◆基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、期首の5,698円から600円上昇し、期末には6,298円となりました。

上昇要因

世界のリート市場が上昇したことや、投資銘柄のうち、ストックランド、サイモン・プロパティー・グループ、デジタル・リアルティ・トラストなどの保有期間中のリターンがプラスとなったことが、基準価額の主な上昇要因となりました。また、一部の通貨が対円で上昇したことも、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

投資銘柄のうち、エクイニクス、KDX不動産投資法人、インターレント・リアルエステート・インベストメント・トラストなどが保有期間中に下落したことが、基準価額の主な下落要因となりました。また、分配金をお支払いしたことも、基準価額の下落要因となりました。

◆投資環境について

<世界リート市場>

当期の世界リート市場は上昇しました。前期に続き、世界リート市場は各国のインフレ動向と金融政策のかじ取りに一喜一憂しつつも、金融引き締め策の終焉が視野に入ったことを好感する動きが目立ちました。

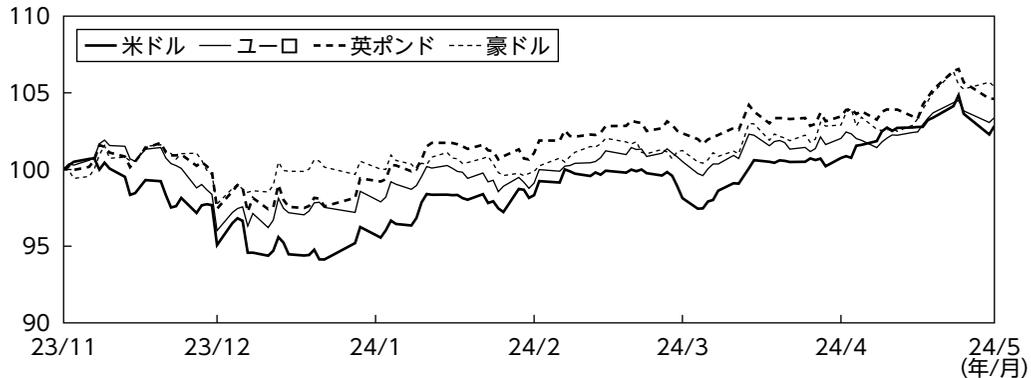
期の前半は、FRB（米連邦準備制度理事会）の政策転換期待から力強い滑り出しとなりました。2023年10月末からのFOMC（米連邦公開市場委員会）で利上げ見送りが決定されたことで、金融引き締めの打ち止め観測が広がり、その後発表された雇用統計や物価関連指標もインフレ鈍化シナリオを追認する結果となったほか、ユーロ圏でも同様の環境となり、欧米中銀の高官から利上げの打ち止めと先々での利下げを示唆する発言が相次いだことから、市場心理は大きく改善しました。ただし、年明け以降は急ピッチで上昇した世界リート市場に対して利益確定の動きもみられ、上値の重さが意識されました。

期中盤は、引き締め環境下での底堅い米経済指標や、FRB高官の早期の利下げ期待をけん制する発言が目立ったことから、横ばいで推移しました。米地銀の決算発表の一部に商業用不動産が依然厳しい事業環境にあることが示されたほか、欧州でも保有不動産の評価損懸念が意識され、世界リート市場の重石となりました。

期の終盤は、軟調なスタートとなったのち底打ちの動きとなりました。コモディティ相場の回復と物価関連指数がインフレの粘着性を示唆したことで、欧米での利下げ先送り観測が浮上し、米長期金利の上昇を嫌気して、株式市場全体が調整したのに合わせて世界リート市場も下落しました。ただし期末にかけては、生成AI（人工知能）関連など米大手企業決算の無難な業績や中国不動産に対する数々の当局支援策を受けて、持ち直しの動きもみられ世界リート市場は上昇しながら当期を終えました。

<外国為替市場>

主要通貨が対円で総じて上昇しました。



出所：一般社団法人投資信託協会

(注) 各通貨は、期首を100として指数化しています。

◆ポートフォリオについて

<本ファンド>

本ファンドはグローバルREITポートフォリオ・マザーファンドを概ね高位に組入れ、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されているリートに分散投資を行うことにより、高水準のインカム・ゲインの獲得を図りつつ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

<本マザーファンド>

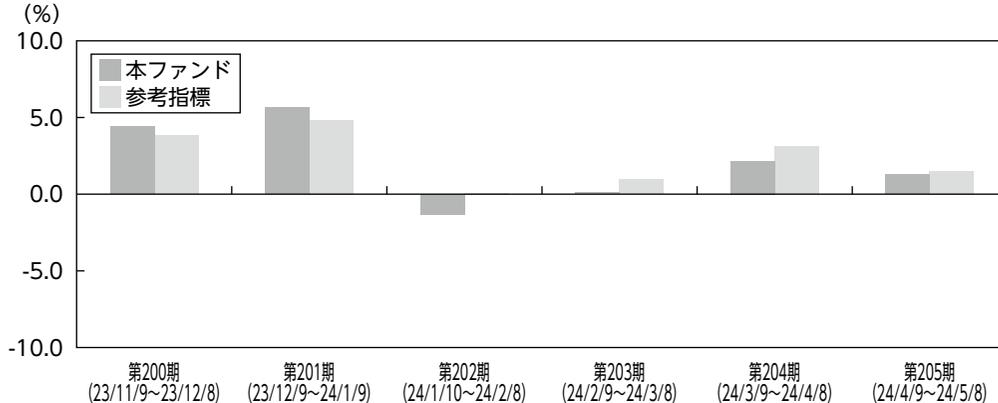
世界各国のリートに分散投資を行い、安定した配当収入の確保と信託財産の成長をめざしました。本マザーファンドの配当利回りが市場平均を上回るようポートフォリオ運営を継続しました。ポートフォリオの配当利回りを確保するため、米国の優先証券の組入れを継続しました。その結果、2024年4月末の本マザーファンドの配当利回りは5.0%となりました。

当期の主な国・地域別配分については、各市場のファンダメンタルズ（経済の基礎的諸条件）やバリュエーションなどを勘案し、米国やフランスなどをオーバーウェイトとし、オーストラリアやベルギーなどを概ねアンダーウェイトとしました。当期においては、ストックランド、サイモン・プロパティ・グループ、デジタル・リアルティ・トラストなどの保有期間中のリターンがプラスとなったことなどがプラス寄与となった一方、エクイニクス、KDX不動産投資法人、インターレント・リアルエステート・インベストメント・トラストが保有期間中に下落したことなどがマイナス寄与となりました。

◆ベンチマークとの差異について

本ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、本ファンドの基準価額と参考指標の騰落率の対比です。

<当期の基準価額と参考指標の対比（騰落率）>



(注1) 基準価額の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 参考指標はS & P先進国リート・インデックス（除く米国、トータル・リターン、円ベース）とS & P先進国リート・インデックス（トータル・リターン、円ベース）を1対1の割合で合成した指数であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

当期の本ファンドのパフォーマンス（分配金再投資ベース）は+12.7%となった一方、参考指標のパフォーマンスは+15.0%となりました。

◆分配金について

収益分配金（1万口当たり、税引前）については、分配方針および基準価額の水準などを勘案し、第200期から第205期は各20円としました。収益分配金に充てなかった収益については、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

今後の運用方針について

<本ファンド>

今後も引き続き本マザーファンド受益証券を高位に組入れ、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されているリートに分散投資を行うことにより、高水準のインカム・ゲインの獲得を図りつつ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

<本マザーファンド>

引き続き世界各国のリートに分散投資を行い、安定した配当収入の確保と信託財産の成長をめざします。当社では需給や資金調達環境などを注視しています。2023年は米国の利上げの継続、据え置きを含む金融引き締めが2年目に突入し、インフレ指標にピークアウトの兆しが見られた一方で、米地銀の経営破綻など、政策の影響が随所に顕在化しました。ロシアによるウクライナ侵攻の長期化やイスラエルとハマスの武力衝突など地政学上の懸念材料が断続的に意識されるなか、製造拠点の国内回帰やAIの発展といったテーマが意識されました。グローバルリート市場は世界的に金融引き締めが続くなか、欧米を筆頭にオフィスに対する構造的な需要低下や中国不動産市場の調整が長引いていることを背景に軟調な値動きとなりました。2024年に入ってからからは、幅広い分野でのAI活用の加速や金融政策面では利下げが期待される環境となり、持ち直しの動きとなっています。ただし、金融引き締めによる経済の下押し効果が続くことやコロナ禍以降の生活様式の変化による不動産需給の変容もあるため、不動産セクター全体での持ち直しの動きというよりは、立地やテナントのファンダメンタルズ（業績、財務内容などの基礎的諸条件）の違いによる選別色が依然強いとみており、需給環境を踏まえたクオリティ重視の銘柄選択が重要だと考えています。

当社では、中長期的に、相対的に高い配当利回り、成長性の高さ、分散効果、インフレ・ヘッジなどの利点から、リートは引き続き魅力的な投資対象であると考えます。今後も、ファンドの配当利回りが市場平均を上回ることをめざしながらポートフォリオの運用を継続いたします。個別銘柄については、ファンダメンタルズに基づくボトムアップ・アプローチにより、バランスシートが良好で、強固なビジネス・モデルや優良資産、優秀な経営陣を有する質の高い企業に焦点を当てていきます。国・地域別配分については、各市場のファンダメンタルズや資金フローを勘案し、機動的に調整いたします。また、ポートフォリオの配当利回りを確保するため、米国の優先株の組み入れを継続いたします。

（上記見通しは2024年5月8日現在のものであり、今後、見通しは変更される可能性があります。）

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第200期～第205期		項目の概要
	2023年11月9日～2024年5月8日		
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	54円 (25)	0.864% (0.410)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価
(販売会社)	(25)	(0.410)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価
(受託会社)	(3)	(0.044)	ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料 (投資信託証券)	1 (1)	0.022 (0.022)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.001 (0.001)	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
その他費用 (保管費用)	5 (1)	0.085 (0.015)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用
(監査費用)	(0)	(0.003)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(4)	(0.066)	目論見書・運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
合計	60	0.972	

期中の平均基準価額は6,212円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む。）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、本ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、本ファンドに対応するものを含みます。

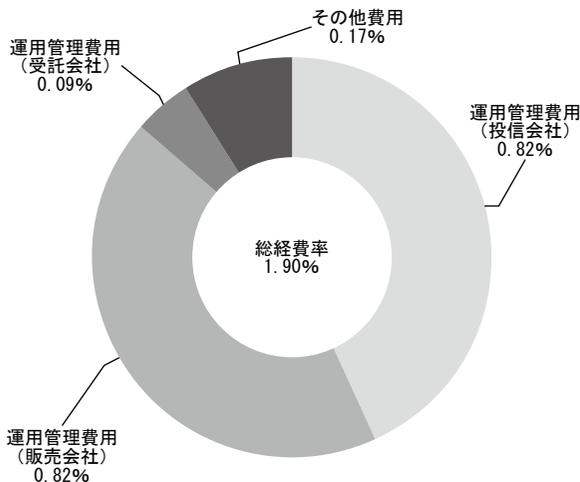
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.90%です。



(注1) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■売買及び取引の状況（2023年11月9日から2024年5月8日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

決 算 期	第 200 期 ~		第 205 期	
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
グ ロー バ ル R E I T ポ ー ト フ ォ リ オ ・ マ ザ ー フ ァ ン ド	千口 24,649	千円 48,166	千口 221,059	千円 432,582

■利害関係人との取引状況等（2023年11月9日から2024年5月8日まで）

利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細（2024年5月8日現在）

親投資信託残高

種 類	第 199 期 末	第 205 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
グ ロー バ ル R E I T ポ ー ト フ ォ リ オ ・ マ ザ ー フ ァ ン ド	千口 1,953,913	千口 1,757,502	千円 3,598,838

■投資信託財産の構成

2024年5月8日現在

項 目	第 205 期 末	
	評 価 額	比 率
グ ロー バ ル R E I T ポ ー ト フ ォ リ オ ・ マ ザ ー フ ァ ン ド	千円 3,598,838	% 99.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	2,247	0.1
投 資 信 託 財 産 総 額	3,601,085	100.0

(注1) グローバルREITポートフォリオ・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（3,230,148千円）の投資信託財産総額（3,868,687千円）に対する比率は83.5%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。なお決算日における邦貨換算レートは1米ドル=154.95円、1カナダドル=112.81円、1ユーロ=166.56円、1英ポンド=193.66円、1オーストラリアドル=102.03円、1ニュージーランドドル=92.86円、1香港ドル=19.81円、1シンガポールドル=114.35円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第 200 期 末	第 201 期 末	第 202 期 末	第 203 期 末	第 204 期 末	第 205 期 末
	2023年12月8日	2024年1月9日	2024年2月8日	2024年3月8日	2024年4月8日	2024年5月8日
(A) 資 産	3,635,359,135円	3,753,452,219円	3,628,716,867円	3,572,907,319円	3,600,470,982円	3,601,085,038円
グローバルREITポートフォリオ・マザーファンド(評価額)	3,628,646,846	3,752,223,799	3,627,362,549	3,557,235,172	3,597,839,990	3,598,838,100
未 収 入 金	6,712,289	1,228,420	1,354,318	15,672,147	2,630,992	2,246,938
(B) 負 債	24,183,864	19,004,631	18,526,832	32,353,721	19,568,461	18,804,819
未 払 収 益 分 配 金	12,181,892	11,960,156	11,759,266	11,557,815	11,478,364	11,375,807
未 払 解 約 金	6,712,289	1,228,420	1,354,318	15,672,147	2,630,992	2,246,938
未 払 信 託 報 酬	5,141,944	5,653,612	5,262,058	4,980,653	5,306,634	5,037,340
そ の 他 未 払 費 用	147,739	162,443	151,190	143,106	152,471	144,734
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	3,611,175,271	3,734,447,588	3,610,190,035	3,540,553,598	3,580,902,521	3,582,280,219
元 本	6,090,946,326	5,980,078,161	5,879,633,490	5,778,907,949	5,739,182,178	5,687,903,927
次 期 繰 越 損 益 金	△2,479,771,055	△2,245,630,573	△2,269,443,455	△2,238,354,351	△2,158,279,657	△2,105,623,708
(D) 受 益 権 総 口 数	6,090,946,326口	5,980,078,161口	5,879,633,490口	5,778,907,949口	5,739,182,178口	5,687,903,927口
1万口当たり基準価額(C/D)	5,929円	6,245円	6,140円	6,127円	6,239円	6,298円

(注) 当作成期首元本額は6,145,491,806円、当作成期間（第200期～第205期）中において、追加設定元本額は78,728,030円、同解約元本額は536,315,909円です。

■損益の状況

項 目	第 200 期	第 201 期	第 202 期	第 203 期	第 204 期	第 205 期
	自 2023年11月9日 至 2023年12月8日	自 2023年12月9日 至 2024年1月9日	自 2024年1月10日 至 2024年2月8日	自 2024年2月9日 至 2024年3月8日	自 2024年3月9日 至 2024年4月8日	自 2024年4月9日 至 2024年5月8日
(A) 有 価 証 券 売 買 損 益	157,425,709円	206,529,353円	△ 44,341,923円	8,880,671円	81,501,075円	49,940,770円
売 買 益	159,288,102	208,921,753	344,509	9,568,667	82,339,522	52,914,265
売 買 損	△ 1,862,393	△ 2,392,400	△ 44,686,432	△ 687,996	△ 838,447	△ 2,973,495
(B) 信 託 報 酬 等	△ 5,289,683	△ 5,816,055	△ 5,413,248	△ 5,123,759	△ 5,459,105	△ 5,182,074
(C) 当 期 損 益 金 (A+B)	152,136,026	200,713,298	△ 49,755,171	3,756,912	76,041,970	44,758,696
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 493,100,132	△ 345,857,355	△ 154,126,849	△ 211,575,505	△ 217,368,156	△ 151,229,998
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	△2,126,625,057	△2,088,526,360	△2,053,802,169	△2,018,977,943	△2,005,475,107	△1,987,776,599
(配 当 等 相 当 額)	(284,356,185)	(279,759,550)	(275,650,276)	(271,317,816)	(269,943,495)	(267,874,307)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△2,410,981,242)	(△2,368,285,910)	(△2,329,452,445)	(△2,290,295,759)	(△2,275,418,602)	(△2,255,650,906)
(F) 計 (C+D+E)	△2,467,589,163	△2,233,670,417	△2,257,684,189	△2,226,796,536	△2,146,801,293	△2,094,247,901
(G) 収 益 分 配 金	△ 12,181,892	△ 11,960,156	△ 11,759,266	△ 11,557,815	△ 11,478,364	△ 11,375,807
次 期 繰 越 損 益 金 (F+G)	△2,479,771,055	△2,245,630,573	△2,269,443,455	△2,238,354,351	△2,158,279,657	△2,105,623,708
追 加 信 託 差 損 益 金	△2,126,625,057	△2,088,526,360	△2,053,802,169	△2,018,977,943	△2,005,475,107	△1,987,776,599
(配 当 等 相 当 額)	(284,381,202)	(279,848,632)	(275,664,652)	(271,335,231)	(269,992,008)	(267,890,181)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△2,411,006,259)	(△2,368,374,992)	(△2,329,466,821)	(△2,290,313,174)	(△2,275,467,115)	(△2,255,666,780)
分 配 準 備 積 立 金	227,527,235	232,941,762	217,975,756	207,635,970	215,073,223	210,618,335
繰 越 損 益 金	△ 580,673,233	△ 390,045,975	△ 433,617,042	△ 427,012,378	△ 367,877,773	△ 328,465,444

(注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注4) 収益分配金の計算過程において、マザーファンドの配当等収益を繰入れております。

■分配金のお知らせ

決 算 期	第 200 期	第 201 期	第 202 期	第 203 期	第 204 期	第 205 期
1 万 口 当 たり 分 配 金	20円	20円	20円	20円	20円	20円

- ◇分配金には、課税扱いとなる普通分配金と、非課税扱いとなる元本払戻金（特別分配金）があります。
- ◇分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ◇税率は、個人の受益者については原則20.315%（所得税15.315%、地方税5%）です。ただし、外国税額控除の適用となった場合には、軽減される場合があります。
- ◇税法が改正された場合等には、上記内容が変更になる場合もあります。

■分配原資の内訳

（単位：円・%、1万口当たり・税引前）

項 目	第 200 期	第 201 期	第 202 期	第 203 期	第 204 期	第 205 期
	2023年11月9日 ~2023年12月8日	2023年12月9日 ~2024年1月9日	2024年1月10日 ~2024年2月8日	2024年2月9日 ~2024年3月8日	2024年3月9日 ~2024年4月8日	2024年4月9日 ~2024年5月8日
当期分配金	20	20	20	20	20	20
（対基準価額比率）	0.336	0.319	0.325	0.325	0.320	0.317
当期の収益	18	20	2	9	20	16
当期の収益以外	1	—	17	10	—	3
翌期繰越分配対象額	840	857	839	828	845	841

- （注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- （注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。
- （注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

グローバルREIT ポートフォリオ・ マザーファンド

親投資信託

第35期（決算日2024年5月8日）

作成対象期間：2023年11月9日～2024年5月8日

■本ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	親投資信託
信託期間	原則として無期限
運用方針	日本を含む世界各国の証券取引所に上場されている不動産投資信託（リート）に分散投資を行うことにより、高水準のインカム・ゲインの獲得を図りつつ、長期的な元本の成長をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行わず、S&P先進国リート・インデックス（除く米国、トータル・リターン、円ベース）とS&P先進国リート・インデックス（トータル・リターン、円ベース）を1対1の割合で合成したものを運用上の参考指標とします。
主要投資対象	日本を含む世界各国の証券取引所に上場されているリート
組入制限	①投資信託証券および短期金融商品以外の有価証券への直接投資は行いません。 ②外貨建資産への投資については、特に制限を設けません。

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。法令・諸規則に基づき、親投資信託（マザーファンド）の期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額	参考指標		投資信託 証券比率	純資産額
		騰落率	騰落率		
	円	%	%	%	百万円
31期 (2022年5月9日)	18,578	2.0	△ 0.6	96.1	4,533
32期 (2022年11月8日)	17,521	△ 5.7	△ 3.8	98.2	4,083
33期 (2023年5月8日)	17,813	1.7	1.1	97.9	3,962
34期 (2023年11月8日)	18,010	1.1	1.1	98.1	3,718
35期 (2024年5月8日)	20,477	13.7	15.0	98.1	3,853

(注) 参考指標 (S&P先進国リート・インデックス (除く米国、トータル・リターン、円ベース) とS&P先進国リート・インデックス (トータル・リターン、円ベース) を1対1の割合で合成したものは、2007年2月22日を10,000として指数化しております。

■当期中の基準価額と市況推移

年月日	基準価額	参考指標		投資信託 証券比率
		騰落率	騰落率	
(期首) 2023年11月8日	円 18,010	% —	% 15,274	% 98.1
11月末	18,799	4.4	15,863	98.9
12月末	20,022	11.2	16,583	98.0
2024年1月末	19,892	10.4	16,508	98.5
2月末	19,682	9.3	16,598	98.7
3月末	20,605	14.4	17,502	97.5
4月末	20,351	13.0	17,255	97.6
(期末) 2024年5月8日	20,477	13.7	17,572	98.1

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 参考指標 (S&P先進国リート・インデックス (除く米国、トータル・リターン、円ベース) とS&P先進国リート・インデックス (トータル・リターン、円ベース) を1対1の割合で合成したものは、2007年2月22日を10,000として指数化しております。

■運用経過

◆基準価額の推移について

(2023年11月9日～2024年5月8日)



◆基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、期首の18,010円から2,467円上昇し、期末には20,477円となりました。

上昇要因

世界のリート市場が上昇したことや、投資銘柄のうち、ストックランド、サイモン・プロパティー・グループ、デジタル・リアルティー・トラストなどの保有期間中のリターンがプラスとなったことが、基準価額の主な上昇要因となりました。また、一部の通貨が対円で上昇したことも、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

投資銘柄のうち、エクイニクス、KDX不動産投資法人、インターレント・リアルエステート・インベストメント・トラストなどが保有期間中に下落したことが、基準価額の主な下落要因となりました。

◆投資環境について

<世界リート市場>

当期の世界リート市場は上昇しました。前期に続き、世界リート市場は各国のインフレ動向と金融政策のかじ取りに一喜一憂しつつも、金融引き締め策の終焉が視野に入ったことを好感する動きが目立ちました。

期の前半は、F R B (米連邦準備制度理事会) の政策転換期待から力強い滑り出しとなりました。2023年10月末からのF O M C (米連邦公開市場委員会) で利上げ見送りが決定されたことで、金融引き締めの打ち止め観測が広がり、その後発表された雇用統計や物価関連指標もインフレ鈍化シナリオを追認する結果となったほか、ユーロ圏でも同様の環境となり、欧米中銀の高官から利上げの打ち止めと先々での利下げを示唆する発言が相次いだことから、市場心理は大きく改善しました。ただし、年明け以降は急ピッチで上昇した世界リート市場に対して利益確定の動きもみられ、上値の重さが意識されました。

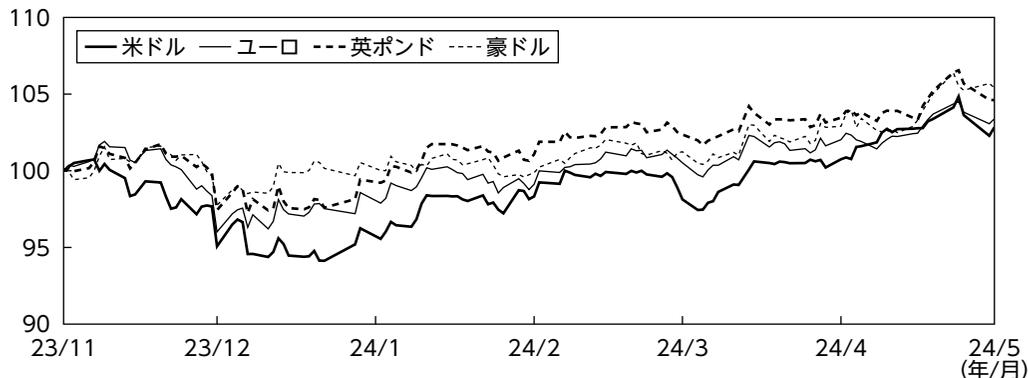
期中盤は、引き締め環境下での底堅い米経済指標や、F R B 高官の早期の利下げ期待をけん制する発言が目立ったことから、横ばいで推移しました。米地銀の決算発表の一部に商業用不動産が依然厳しい事業環境にあることが示されたほか、欧州でも保有不動産の評価損懸念が意識され、世界リート市場の重石となりました。

期の終盤は、軟調なスタートとなったのち底打ちの動きとなりました。コモディティ相場の回復と物価関連指数がインフレの粘着性を示唆したことで、欧米での利下げ先送り観測が浮上し、米長期金利の上昇を嫌気して、株式市場全体が調整したのに合わせて世界リート市場も下落しました。ただし期末に

かけては、生成AI（人工知能）関連など米大手企業決算の無難な業績や中国不動産に対する数々の当局支援策を受けて、持ち直しの動きもみられ世界リート市場は上昇しながら当期を終えました。

<外国為替市場>

主要通貨が対円で総じて上昇しました。



出所：一般社団法人投資信託協会

(注) 各通貨は、期首を100として指数化しています。

◆ポートフォリオについて

世界各国のリートに分散投資を行い、安定した配当収入の確保と信託財産の成長をめざしました。

本ファンドの配当利回りが市場平均を上回るようポートフォリオ運営を継続しました。ポートフォリオの配当利回りを確保するため、米国の優先証券の組入れを継続しました。その結果、2024年4月末の本ファンドの配当利回りは5.0%となりました。

当期の主な国・地域別配分については、各市場のファンダメンタルズ（経済の基礎的諸条件）やバリュエーションなどを勘案し、米国やフランスなどをオーバーウェイトとし、オーストラリアやベルギーなどを概ねアンダーウェイトとしました。当期においては、ストックランド、サイモン・プロパティーズ・グループ、デジタル・リアルティーズ・トラストなどの保有期間中のリターンがプラスとなったことなどがプラス寄与となった一方、エクイニクス、KDX不動産投資法人、インターレント・リアルエステート・インベストメント・トラストが保有期間中に下落したことなどがマイナス寄与となりました。

◆ベンチマークとの差異について

本ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。当期の本ファンドのパフォーマンスは+13.7%となった一方、参考指標のパフォーマンスは+15.0%となりました。

今後の運用方針について

引き続き世界各国のリートに分散投資を行い、安定した配当収入の確保と信託財産の成長をめざします。

当社では需給や資金調達環境などを注視しています。2023年は米国の利上げの継続、据え置きを含む金融引き締めが2年目に突入し、インフレ指標にピークアウトの兆しが見られた一方で、米地銀の経営破綻など、政策の影響が随所に顕在化しました。ロシアによるウクライナ侵攻の長期化やイスラエルとハマスの武力衝突など地政学上の懸念材料が断続的に意識されるなか、製造拠点の国内回帰やAIの発展といったテーマが意識されました。グローバルリート市場は世界的に金融引き締めが続くなか、欧米を筆頭にオフィスに対する構造的な需要低下や中国不動産市場の調整が長引いていることを背景に軟調な値動きとなりました。2024年に入ってからからは、幅広い分野でのAI活用の加速や金融政策面では利下げが期待される環境となり、持ち直しの動きとなっています。ただし、金融引き締めによる経済の下押し効果が続くことやコロナ禍以降の生活様式の変化による不動産需給の変容もあるため、不動産セクター全体での持ち直しの動きというよりは、立地やテナントのファンダメンタルズ（業績、財務内容などの基礎的諸条件）の違いによる選別色が依然強いとみており、需給環境を踏まえたクオリティ重視の銘柄選択が重要だと考えています。

当社では、中長期的に、相対的に高い配当利回り、成長性の高さ、分散効果、インフレ・ヘッジなどの利点から、リートは引き続き魅力的な投資対象であると考えます。今後も、ファンドの配当利回りが市場平均を上回ることをめざしながらポートフォリオの運用を継続いたします。個別銘柄については、ファンダメンタルズに基づくボトムアップ・アプローチにより、バランスシートが良好で、強固なビジネス・モデルや優良資産、優秀な経営陣を有する質の高い企業に焦点を当てていきます。国・地域別配分については、各市場のファンダメンタルズや資金フローを勘案し、機動的に調整いたします。また、ポートフォリオの配当利回りを確保するため、米国の優先株の組み入れを継続いたします。

（上記見通しは2024年5月8日現在のものであり、今後、見通しは変更される可能性があります。）

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	シンガポール	百口 —	千シンガポールドル —	百口 4,742 (—)	千シンガポールドル 237 (8)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) () 内は分割、合併、償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■主要な売買銘柄（2023年11月9日から2024年5月8日まで）

投資信託証券

当			期		
買 付		売 付			
銘 柄	口 数	金 額	銘 柄	口 数	金 額
	千口	千円		千口	千円
VICINITY CENTRES	513	104,103	STOCKLAND	167	80,159
産業ファンド投資法人	0.794	100,090	CUBESMART	9	64,012
PUBLIC STORAGE	1	61,010	ラサールロジポート投資法人	0.329	49,030
INTERRENT REAL ESTATE INVEST	14	23,687	エスコンジャパンリート投資法人	0.285	36,155
日本都市ファンド投資法人	0.178	16,457	LINK REIT	43	30,821
KDX不動産投資法人	0.103	16,193	コンフォリア・レジデンシャル投資法人	0.094	30,682
日本プロロジスリート投資法人	0.041	10,615	CAN APARTMENT PROP REAL ESTA	5	27,016
DEXUS/AU	15	10,320	MERLIN PROPERTIES SOCIMI SA	14	24,554
OMEGA HEALTHCARE INVESTORS	1	8,086	SL GREEN REALTY CORP	7	23,857
PROLOGIS INC	0.249	4,221	REGION RE LTD	95	19,925

(注) 金額は受渡し代金。

■利害関係人との取引状況等（2023年11月9日から2024年5月8日まで）

利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細（2024年5月8日現在）

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当		期		末		
	口	数	評	価	額	比	率
不動産ファンド		口			千円		%
エスコンジャパンリート投資法人		307			38,712		1.0
産業ファンド投資法人		782			101,972		2.6
コンフォリア・レジデンシャル投資法人		57			19,836		0.5
日本プロロジスリート投資法人		219			61,517		1.6
日本ビルファンド投資法人		94			56,306		1.5
日本都市ファンド投資法人		617			57,381		1.5
ユナイテッド・アーバン投資法人		534			80,527		2.1
インヴィンシブル投資法人		473			34,103		0.9
KDX不動産投資法人		748			116,613		3.0
合 計		3,831			566,969		<14.7%>

(注) 比率欄は純資産総額に対する比率。

(2) ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	当		期		末	
	口	数	評		比	率
			外	価		
不動産ファンド		百口			千円	%
(アメリカ…ニューヨーク市場)					千米ドル	
ALEXANDRIA REAL ESTATE EQUIT		40		482	74,826	1.9
AMERICAN TOWER CORP		16		292	45,336	1.2
BRANDYWINE REALTY TRUST		223		103	16,099	0.4
DIGITAL REALTY TRUST INC		67		982	152,256	4.0
EQUITY LIFESTYLE PROPERTIES		47		300	46,593	1.2
EXTRA SPACE STORAGE INC		43		625	96,899	2.5
FEDERAL REALTY INVS TRUST		34		358	55,524	1.4
HEALTHCARE REALTY TRUST INC		113		174	27,036	0.7
HEALTHPEAK PROPERTIES INC		113		217	33,668	0.9
HIGHWOODS PROPERTIES INC		62		167	25,921	0.7
OMEGA HEALTHCARE INVESTORS		71		220	34,176	0.9
PROLOGIS INC		122		1,319	204,426	5.3
PUBLIC STORAGE		13		372	57,656	1.5
RLJ LODGING TRUST		184		197	30,544	0.8

グローバルREITポートフォリオ・マザーファンド

ファンド名	当期			末
	口数	評価額		比率
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ…ニューヨーク市場)	百口	千米ドル	千円	%
REALTY INCOME CORP	55	305	47,332	1.2
SL GREEN REALTY CORP	210	473	73,426	1.9
SIMON PROPERTY GROUP INC	52	777	120,493	3.1
VENTAS INC	93	442	68,595	1.8
VICI PROPERTIES INC	173	511	79,240	2.1
WP CAREY INC	25	145	22,557	0.6
WELLTOWER INC	70	690	107,054	2.8
(アメリカ…米国店頭市場)				
EQUINIX INC	8	617	95,633	2.5
REGENCY CENTERS CORP	58	347	53,879	1.4
小計	1,904	10,127	1,569,179	<40.7%>
(カナダ…トロント市場)		千カナダドル		
ALLIED PROPERTIES REAL ESTAT	105	179	20,267	0.5
CAN APARTMENT PROP REAL ESTA	70	316	35,715	0.9
DREAM INDUSTRIAL REAL ESTATE	123	157	17,779	0.5
INTERRENT REAL ESTATE INVEST	146	175	19,780	0.5
RIOCAN REAL ESTATE INVST TR	167	295	33,343	0.9
小計	612	1,124	126,886	< 3.3%>
(ユーロ…フランス)		千ユーロ		
COVIVIO	58	285	47,586	1.2
KLEPIERRE	219	558	93,022	2.4
GECINA SA	56	565	94,139	2.4
小計	334	1,409	234,749	< 6.1%>
(ユーロ…スペイン)				
MERLIN PROPERTIES SOCIMI SA	243	262	43,707	1.1
小計	243	262	43,707	< 1.1%>
(ユーロ…ベルギー)				
WAREHOUSES DE PAUW SCA	59	156	26,094	0.7
小計	59	156	26,094	< 0.7%>
ユ ー ロ 計	637	1,828	304,551	< 7.9%>
(イギリス…英国市場)		千英ポンド		
BRITISH LAND CO PLC	262	109	21,253	0.6
BIG YELLOW GROUP PLC	369	422	81,762	2.1
UNITE GROUP PLC	437	424	82,253	2.1
LONDONMETRIC PROPERTY PLC	1,381	280	54,416	1.4
SEGRO PLC	475	421	81,619	2.1

グローバルREITポートフォリオ・マザーファンド

ファンド名	当期			末
	口数	評価額		比率
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(イギリス…英国市場)	百口	千英ポンド	千円	%
SHAFTESBURY CAPITAL PLC	722	101	19,663	0.5
TRITAX BIG BOX REIT PLC	1,788	289	56,006	1.5
小計	5,438	2,049	396,975	<10.3%>
(オーストラリア…オーストラリア市場)		千オーストラリアドル		
CHARTER HALL LONG WALE REIT	1,640	569	58,081	1.5
CHARTER HALL RETAIL REIT	2,294	773	78,890	2.0
GPT GROUP	1,244	525	53,595	1.4
STOCKLAND	2,177	997	101,768	2.6
VICINITY CENTRES	5,103	990	101,014	2.6
CENTURIA OFFICE REIT	2,975	348	35,516	0.9
DEXUS/AU	734	518	52,909	1.4
DEXUS INDUSTRIA REIT	1,854	550	56,187	1.5
REGION RE LTD	839	185	18,920	0.5
小計	18,863	5,458	556,883	<14.5%>
(香港…香港市場)		千香港ドル		
LINK REIT	581	2,024	40,110	1.0
小計	581	2,024	40,110	<1.0%>
(シンガポール…シンガポール市場)		千シンガポールドル		
LENDLEASE GLOBAL COMMERCIAL	9,610	528	60,439	1.6
ESR-LOGOS REIT	12,604	359	41,076	1.1
CAPITALAND ASCENDAS REIT	2,412	622	71,159	1.8
FRASERS LOGISTICS & COMMERCIAL	3,943	398	45,539	1.2
小計	28,569	1,908	218,214	<5.7%>
合計	56,607	—	3,212,802	<83.4%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) 比率欄は純資産総額に対する比率。

■投資信託財産の構成

2024年5月8日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 証 券	千円 3,779,771	% 97.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	88,916	2.3
投 資 信 託 財 産 総 額	3,868,687	100.0

(注1) 当期末における外貨建純資産 (3,230,148千円) の投資信託財産総額 (3,868,687千円) に対する比率は83.5%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。なお決算日における邦貨換算レートは1米ドル=154.95円、1カナダドル=112.81円、1ユーロ=166.56円、1英ポンド=193.66円、1オーストラリアドル=102.03円、1ニュージーランドドル=92.86円、1香港ドル=19.81円、1シンガポールドル=114.35円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	当 期 末
	2024年5月8日
(A) 資 産	3,868,687,192円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	61,763,087
投 資 証 券(評価額)	3,779,772,253
未 収 入 金	13,767,434
未 収 配 当 金	13,384,378
未 収 利 息	40
(B) 負 債	15,486,243
未 払 金	13,239,305
未 払 解 約 金	2,246,938
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	3,853,200,949
元 本	1,881,717,296
次 期 繰 越 損 益 金	1,971,483,653
(D) 受 益 権 総 口 数	1,881,717,296口
1万口当たり基準価額(C/D)	20,477円

■損益の状況

項 目	当 期
	自 2023年11月9日 至 2024年5月8日
(A) 配 当 等 収 益	92,509,181円
受 取 配 当 金	92,431,215
受 取 利 息	2,295
そ の 他 収 益 金	89,499
支 払 利 息	△ 13,828
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	404,463,915
売 買 益	454,569,067
売 買 損	△ 50,105,152
(C) そ の 他 費 用 等	△ 2,391,617
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	494,581,479
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	1,653,620,210
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	54,737,823
(G) 解 約 差 損 益 金	△ 231,455,859
(H) 計 (D+E+F+G)	1,971,483,653
次 期 繰 越 損 益 金(H)	1,971,483,653

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。

(注4) 期首元本額は2,064,415,553円、当作成期間中において、追加設定元本額は58,428,709円、同解約元本額は241,126,966円です。

(注5) 元本の内訳
 GSグローバルREITポートフォリオ (毎月分配型) 1,757,502,613円
 グローバル・ダイバーシファイドVA (適格機関投資家専用) 75,981,820円
 ダイバーシファイド・ベータ・ポートフォリオ (適格機関投資家専用) 48,232,863円